

コアシンポジウム 2

「消化管腫瘍の新展開【分子レベルから展開する診断・治療戦略】」

主司会 掛地 吉弘（神戸大学大学院医学研究科
外科学講座食道胃腸外科学分野）

副司会 片岡 洋望（名古屋市立大学大学院消化器・代謝内科学）

加速する分子腫瘍学の進歩により、消化管腫瘍の診断・治療も新知見に基づく展開がみられている。がんゲノム研究から微小環境の各種 omics 解析等により発がんから腫瘍の浸潤・転移メカニズムが解明されている。一方で分子標的によるバイオマーカー活用や薬物療法を含む集学的治療も成績向上に寄与している。基礎から臨床に亘る幅広い領域から消化管腫瘍の最先端の診断・治療戦略を紹介して頂きたい。